

## 第1回 「使える」ハイウェイ推進会議 議事要旨

平成16年7月23日(金) 19:00~20:40

合同庁舎2号館低層棟 共用会議室2

### 【議事概要】

#### 料金の基本的考え方について

- ・フレキシブルな料金設定の必要性は、過去の道路審議会でも議論されており、全く違和感なく、むしろ遅いぐらいである。

#### 公益の最大化を目指した弾力的な料金設定について

- ・道路は公共物であり、公益の最大化を目指すという概念の整理はわかりやすい。
- ・「公益」の対象が何であるか、整理しておく必要がある。

#### 物流事業者への対策の必要性について

- ・物流事業者の通行料金負担感は大きく、高速道路の利用が進んでいないのが現状。
- ・大型車の料金については、大幅な料金割引を行い、高速道路に誘導すべき。

#### 継続的な見直しの必要性

- ・施策を行うだけでなく、マネジメントした上で、適切に見直ししていくことが重要である。情勢の変化に対応するようPDCAサイクルを導入すべき。

#### ETCの普及促進について

- ・ETCの活用したフレキシブルな料金施策を進めるためには、ETCの普及が不可欠。ETCを活用した大幅な割引や普及キャンペーンを実施すべき。

#### 道路の使い方に関する施策の推進

- ・道路の使い方に関しても、関心を持つことが重要。
- ・例えば、追越し車線を走り続けると、交通容量が落ちるので道路の性能が落ちることなどをアピールするなど、ユーザーも上手に道路を使うようにすべき。

#### 公益重視の観点からの国や地方による料金施策

- ・料金施策により社会的により大きな効果が期待できるものは、公益重視の観点から、国や地方による料金施策も考えるべきである。

(文責 国土交通省道路局、速報のため、事後修正の可能性あり)